

# 第76期第3四半期 報告書

平成27年10月1日から平成27年12月31日まで

伊藤ハム株式会社

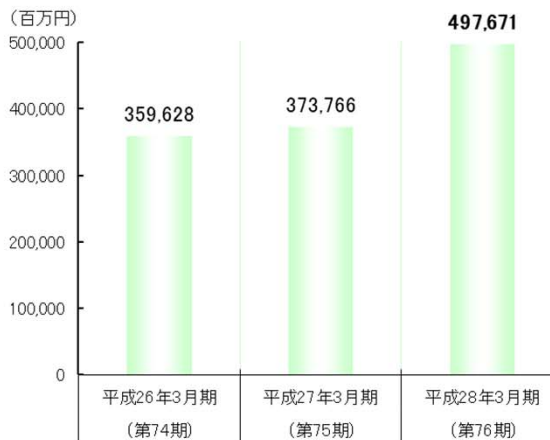
《決算のポイント》

【売上高】

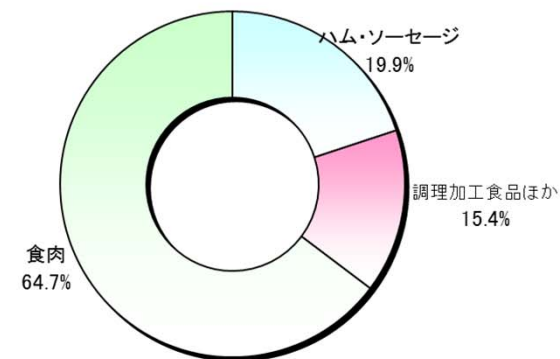
売上高は、ハム・ソーセージでは歳暮ギフトがWHO傘下のIARC(国際がん研究機関)の発表の影響により減少いたしましたが、「The GRAND アルトバイエルン」や「朝のフレッシュシリーズ」等の主力商品が順調に推移したことや中食・外食向けの商品が大きく伸びた結果、前年同期に比べて3.3%増となりました。また、調理加工食品ほかにつきましても、ハンバーグ類、ピザ・スナック類が好調に推移し前年同期に比べて19.4%増となりました。食肉につきましては、アンズコフーズ社の連結による売上増加により前年同期に比べて50.7%増と大幅に増加しました。

売上高全体としては前年同期より1,239億5百万円増加して4,976億7千1百万円(前年同期比33.2%増)となりました。

売上高



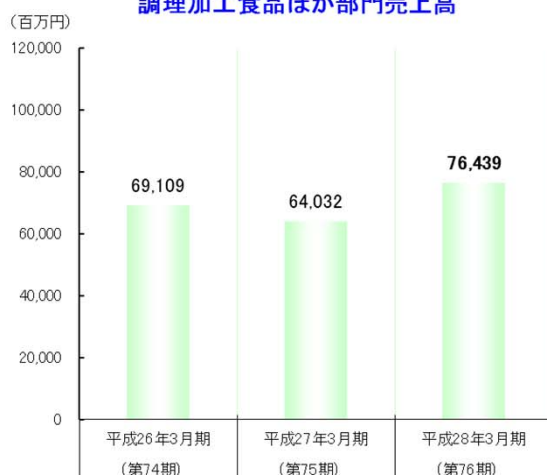
部門別売上高構成比



ハム・ソーセージ部門売上高



調理加工食品ほか部門売上高



食肉部門売上高



## 《決算のポイント》

### 【売上総利益・営業利益】

売上総利益は、ハム・ソーセージの売上回復、調理加工食品ほか及び食肉の売上増加に伴って前年同期に比べて108億1千2百万円増加して768億1千2百万円(前年同期比16.4%増)となりました。

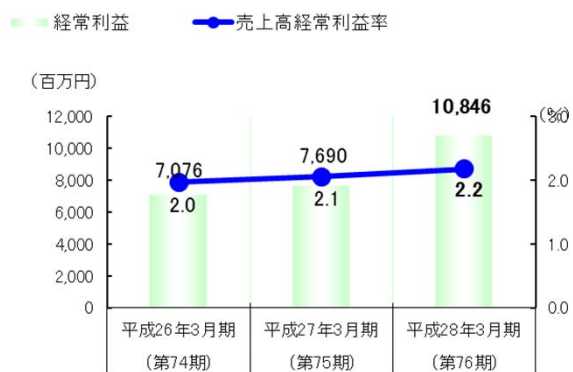
営業利益は、アンズコフーズ社の連結に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、前年同期に比べて50億9千2百万円増加して102億9千4百万円(前年同期比97.9%増)となりました。

### 【経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益】

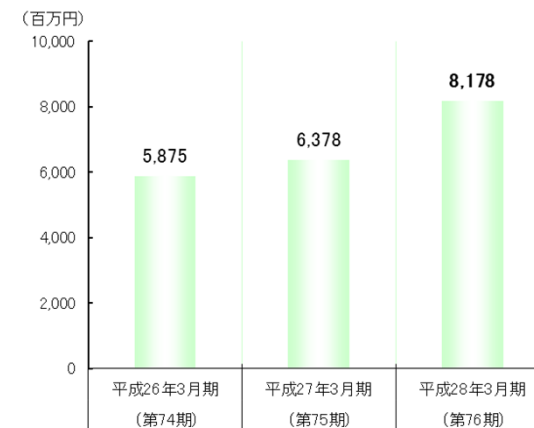
経常利益は、前年同期に比べて31億5千5百万円増加して108億4千6百万円(前年同期比41.0%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に比べて18億円増加して81億7千8百万円(前年同期比28.2%増)となりました。

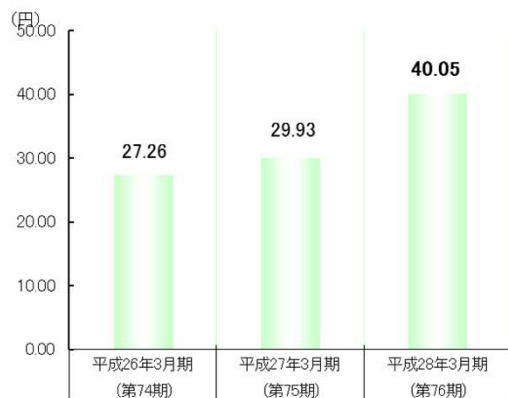
### 経常利益／売上高経常利益率



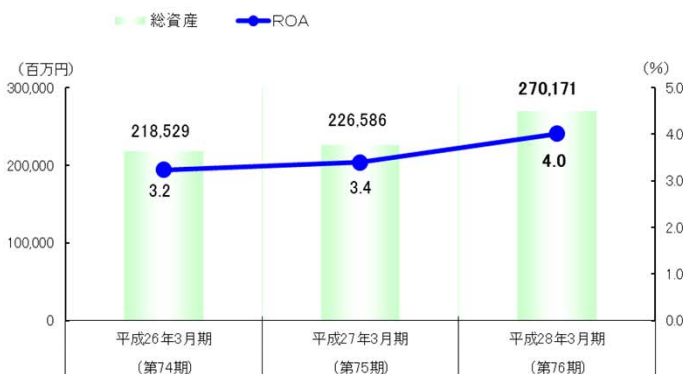
### 親会社株主に帰属する四半期純利益



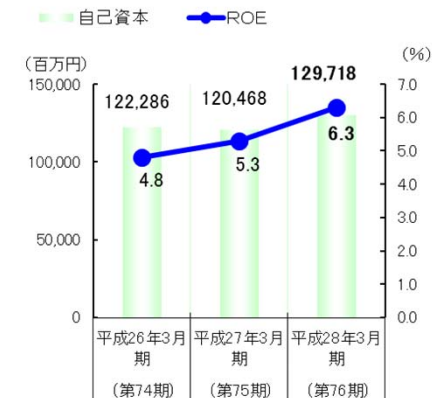
### 1株当たり四半期純利益



### 総資産／ROA



### 自己資本／ROE



## 四半期連結財務諸表(要約)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (平成27年12月31日)
(資産の部)		
<b>流動資産</b>	<b>148,956</b>	<b>164,767</b>
現金及び預金	14,952	11,245
受取手形及び売掛金	61,827	88,646
有価証券	10	-
商品及び製品	50,388	46,519
仕掛品	448	216
原材料及び貯蔵品	15,207	14,348
その他	6,159	3,857
貸倒引当金	△ 38	△ 66
<b>固定資産</b>	<b>111,044</b>	<b>105,403</b>
有形固定資産	69,695	63,538
無形固定資産	1,746	1,854
投資その他の資産	39,601	40,010
<b>資産合計</b>	<b>260,000</b>	<b>270,171</b>

### 《決算のポイント》

#### 【資産の状況】

総資産は、前連結会計年度末に比べて101億7千万円増加し、2,701億7千1百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加とたな卸資産及び有形固定資産の減少等によるものです。

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (平成27年12月31日)
(負債の部)		
<b>流動負債</b>	<b>89,687</b>	<b>87,577</b>
<b>固定負債</b>	<b>36,018</b>	<b>45,948</b>
<b>負債合計</b>	<b>125,705</b>	<b>133,526</b>
(純資産の部)		
<b>株主資本</b>	<b>116,044</b>	<b>122,615</b>
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,045	30,042
利益剰余金	75,450	81,996
自己株式	△ 17,879	△ 17,849
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>10,214</b>	<b>7,103</b>
その他有価証券評価差額金	7,052	7,486
繰延ヘッジ損益	593	△ 756
為替換算調整勘定	2,424	170
退職給付に係る調整累計額	142	202
<b>新株予約権</b>	<b>88</b>	<b>101</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>7,948</b>	<b>6,824</b>
<b>純資産合計</b>	<b>134,294</b>	<b>136,645</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>260,000</b>	<b>270,171</b>

#### 【負債及び純資産の状況】

負債は、前連結会計年度末に比べて78億2千万円増加し、1,335億2千6百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、長期借入金、長期借入金、長期借入金の増加と短期借入金の減少等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて23億5千万円増加し、1,366億4千5百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加と繰延ヘッジ損益及び為替換算調整勘定の減少等によるものです。

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第3四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年12月31日)
売上高	373,766	497,671
売上原価	307,766	420,858
売上総利益	65,999	76,812
販売費及び一般管理費	60,797	66,517
営業利益	5,202	10,294
営業外収益	2,874	1,937
営業外費用	385	1,385
経常利益	7,690	10,846
特別利益	227	1,815
特別損失	509	67
税金等調整前四半期純利益	7,408	12,594
法人税等合計	951	3,955
四半期純利益	6,457	8,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	460
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,378	8,178

## 四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前第3四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年12月31日)
四半期純利益	6,457	8,639
その他の包括利益	4,491	△ 4,552
その他有価証券評価差額金	1,571	436
繰延ヘッジ損益	772	△ 1,709
為替換算調整勘定	216	△ 3,331
退職給付に係る調整額	415	59
持分法適用会社に対する持分相当額	1,514	△ 7
四半期包括利益	10,948	4,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,866	5,067
非支配株主に係る四半期包括利益	81	△ 980

おいしさそのまま塩分20%カット！  
 「PRIMEあらびきグルメポークウインナー 塩分20%カット」  
 「朝のフレッシュ ロースハム/ハーフベーコン 塩分20%カット」新発売

定番ブランドのシリーズより、おいしさはそのまま塩分20%カットの商品を新発売します。

健康に配慮し食事や栄養に気を配っている方へ向けた、毎日の食卓で活躍する商品です。

減塩タイプの商品は、お客様によっては「味が薄そう」「減塩の味がよくわかりにくい」などのイメージを持たれているようですが、この商品は既存のブランドのシリーズとして、そのブランドのおいしさそのままに仕上げました。

「おいしいものを食べたいが塩分は控えたい」そのようなニーズにお応えできる新商品です。



日本食品標準成分表2010との比較  
 一般のロースハム・ベーコン・ウインナーに比べ、塩分(ナトリウム)を20%カットしています



もも原料を使用したボリュームタイプの生ハム  
 「しっとりまろやか もも生ハム 切り落とし 110g」  
 新発売

豚もも肉を原料に使用した「しっとりまろやか もも生ハム 切り落とし 110g」を新発売します。

1パック110gのボリュームで、そのままワインやビールのおつまみとして利用いただくのはもちろん、サラダのトッピングといった普段の料理の具材など、さまざまな用途でお使いいただけます。

しっとりした口当たりまろやかな味わいが特長の普段使いに適した生ハムです。



「旨包ボリュームリッチ中華料理品」3品新発売

“おいしさを包んだお惣菜”がコンセプトの「旨包」シリーズより中華料理品3品を新発売します。需要の高い完全料理品のカテゴリーにおいて、今春は、これまでのハンバーグから料理品へシリーズを拡大します。チルドタイプならではのおいしさと専門店の味を追求したボリュームたっぷりの本格中華がお楽しみいただけます。



粗挽き肉団子と野菜の黒酢あん



麻婆豆腐



黒酢豚

「子ども未来プロジェクト」「タンザニア支援プロジェクト」実施中

1月1日から2月29日までの間、ユニセフを支援する活動として「子ども未来プロジェクト」「タンザニア支援プロジェクト」を実施しています。

平成20年から行っている「タンザニア支援プロジェクト」に加え、本年度は「アジアの中で最も信頼される食肉加工メーカーになる」という経営ビジョンに基づき、アジアの子どもたちに教育の機会を提供するユニセフの活動を支援する「子ども未来プロジェクト」を新たにスタートさせました。

対象商品1パックにつき1円を公益財団法人日本ユニセフ協会へ寄付し、両プロジェクトを通じてお客様の善意をアジアやタンザニアの子どもたちにお届けします。



【子ども未来プロジェクト】  
教育の機会を奪われがちなアジアの子どもたちに、学校・教室の建設や教員の育成などの支援を予定しています。

【タンザニア支援プロジェクト】  
急性栄養不良で命の危険にさらされる5歳未満児の数を減らすため、治療用ミルクや栄養補助食品の提供、医療スタッフの育成など治療環境の整備を支援します。



伊藤ハムはユニセフを支援します